

会員の「非行」への対策について議論

会員集会開催

冒頭、畠中隆爾会長の挨拶がなされた。本年度2回目の会員集会であるとして、前回集会の振り返りがなされたとともに、今回は、会員の非行対策の議論や、公益ポイント制度に関する検討状況について紹介された。また、ロマンス詐欺事件に対する非弁提携事件及び預り金流用事件で、立て続けに当会会員の非行が明らかになつたこともあり、当会として会員の非行に対し、どのように対策すべきかが議論された。まず市民窓口、紛議調停、綱紀懲戒の流れや適正化対策室の活動、そして日弁連規程の改定につ

る。冒頭、畠中隆爾会長の挨拶がなされた。本年度2回目の会員集会であるとして、前回集会の振り返りがなされたとともに、今回は、会員の非行対策の議論や、公益ポイント制度に関する検討状況について紹介された。また、ロマンス詐欺事件に対する非弁提携事件及び預り金流用事件で、立て続けに当会会員の非行が明らかになつたこともあり、当会として会員の非行に対し、どのように対策すべきかが議論された。まず市民窓口、紛議調停、綱紀懲戒の流れや適正化対策室の活動、そして日弁連規程の改定につ

テー^マ1

会員の非行に対する 対策について

冒頭、畠中隆爾会長の挨拶がなされた。本年度2回目の会員集会であるとして、前回集会の振り

況報告を行うことが述べられた。弁護士会の監督権限が各会員に対する間接的なものである中、どのように懲戒権や指揮監督権を行使していくかについて、議論を深めていくとい

た。弁護士会照会手数料につき、現行5000円(税別)の送料別であるところ、7500円(税別)の送料込みに変更する」と、印鑑証明書発行手数料は300円(税別)から500円(税別)に変更し、従前無料で発行していた証明書類も、50

0円(税別)の費用を徴収する形となることが説明された。物価、人件費の上昇、人手不足が挙げられ、特に弁護士会照会は件数が大幅に増え負担が大きくなつていているので会員に理解を求めたいとした。

テー^マ2

弁護士会照会手数料及び各種証明書発行手数料の改定について

報告事項1
公益ポイントに関する
検討状況について

報告事項2
公益活動ポイント等検討ワーキングチームが、現行制度見直しのため、委員会アンケートを実施するとともに、全会員に平等の分担になるよう制度趣旨や制度の位置付けから検討していることが

疑問と意見交換が行わ

れました。

報告事項3
ロマンス詐欺事件に関する非弁提携事件及び預り金流用事件で、立て続けに当会会員の非行が明らかになつたこともあり、当会として会員の非行に対し、どのように対策すべきかが議論された。まず市民窓口、紛議調停、綱紀懲戒の流れや適正化対策室の活動、そして日弁連規程の改定につ

て

報告事項4
法律事務所事務職員に

ある。

報告事項5
局業務のシステム化が中

途に

ある。

報告事項6
新システムは、会事務

の

ある。

報告事項7
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項8
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項9
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項10
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項11
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項12
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項13
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項14
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項15
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項16
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項17
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項18
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項19
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項20
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項21
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項22
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項23
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項24
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項25
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項26
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項27
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項28
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項29
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項30
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項31
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項32
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項33
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項34
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項35
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項36
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項37
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項38
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項39
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項40
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項41
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項42
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項43
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項44
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項45
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項46
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項47
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項48
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項49
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項50
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項51
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項52
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項53
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項54
今年度の会員登録

の

ある。

報告事項55
今年度の会員登録

の

ある。

第13回

人権シンポ



か な が わ

昨年11月29・30日、
当会会館においてオンラインを併用して
多数のプログラムが開催された

戦後80年の節目の年に、「日本被団協の田中熙日さんをお迎えして、高校生と考える いま、『核なき世界』をどう実現するか」と題する講演が開催された。

高校生からの質問に回答する講師

に関わる高校生
からは、「ビリ
ヨクだけどムリ
ヨクじゃない」
をテーマに、署
名活動やフィー
ルドワーク等積
力的に活動して

(会員 大崎茉耶)

消費者マスター
「ドキドキ、どうな大人になれるかな？」

日は予想以上の盛り上がりを見せた。休日のクリエーションとして楽しみながら学ぶ手法は、幅広い層に消費者教育を届ける有効な手段となつた。

ついで本題である。
運営に携わった委員に
とっても、消費者教育の
意義を再確認する貴重な
機会となつた。本イベン
トを足掛かりに、今後も
地域社会へ向けた消費者
教育の普及に注力してい
きたい。

ボーッドゲームで未来を体験!!

消費者問題対策委員会は、消費者教育推進事業の一環として、小学生とその保護者を対象とした親子チーム対抗のボードゲーム大会を開催した。

教材には、社会の仕組みを楽しみながら能動的に学べるとして定評のある「ライフリテラシー」

「ゲーム」を採用。ゲームの進行に合わせ、委員が考案した「消費者問題クイズ」に挑戦する独自ルールを導入した。

事前準備の段階で、当委員会の委員からも「遊びながら自然と知識が身につく」と高い評価を得ていた同ゲームだが、当

波乱万丈な展開に一喜一憂し、真剣に勝負に挑んだ児童たちには、当会長からの「消費者マスター認定証」が授与された。参加者には、自然と消費者問題を学び、笑顔で帰つてもらえたのではないか。休日を親子で楽しむ一助になつた。

核なき世界の実現にむけて

きみも消費者マスター

具体的な数値を挙げて解説する中嶋氏

海中のプラスチックを
ウミガメ等が飲み込み、
その生命が奪われていて
ことは報道などにより広
く知られている。しかし
この問題に対処している
と思われていた「生分解
性プラスチック」も、実
際には温度条件等により
通常の海洋環境では分解
されない場合がある。

（会員）津田 紗子（さよこ） 統括主導権をもつた企業は、
して環境対策の助言をする
る弁護士としてだけでなく、
日々の生活者として、
も「できる」とや「すべき」とについて、多く
くを考え方をされる貴重
な機会だった。
レジ袋1枚の消費を避
けることは、私たちの未
来を変える、意味あるエ
コアクションだ。

コアクションだ。
(会員 津田 紗子)

レジ袋がクラゲのように漂う、別世界のような光景。しかし、汚染は「別世界」ではない。そう遠くない未来、スーパーの鮮魚売り場に、天然魚よりも高価な『プラスチックフリー』の養殖魚が並ぶかもしれない。

は、生物海洋学者の中嶋亮太氏（国立研究開発法人海洋研究開発機構）を招き、「海洋プラスチックごみ問題」をテーマに講演会を開催した。講演では、海洋プラスチック汚染の現状や課題について

された「レジ袋有料化政策」が、実は海中のプラスチック量の抑制には大きく寄与する。これらのように、目からうろこが落ちるような情報が紹介された。

汚染された海は、
まるで別世界だ。

“非行”の奥にある声を聴く

子どもたちの食を守るために
私たちができる

標記のテーマでシンposiumが開催された。

第1部では、「少年事件で弁護士がどんなことをしているか」というタイトルで、井原綾子会員及び佐藤直会員による其調講演が行われ、少年事件における弁護士の役割等についての説明や少年事件についての直接の実演などが行

われた。

第2部では、「調査官・少年院職員・弁護士、それぞれの立場から、非行少年への関わりを考える」というタイトルで、日本女子大学名誉教授で元家庭裁判所調査官の岡本吉生氏、医療少年院の福祉専門官、井原会員、佐藤会員によるパネルディスカッションに参加する岡本氏

少年等多岐にわたるテーマで家裁調査官、福祉事務官、弁護士それぞれの立場から意見交換がなされ、充実した議論が行われた。

世間では「少年法は甘い」「少年法は廃止すべきだ」などという声もちらり。今回のシンポジウムを通して、多くの方々に少年事件の実情や少年法の理念などを知つていただき、少しでも少年法や少年事件に対してもこれまでと違った印象を持つことをいただけたら嬉しく思います。次第である。

貧困問題対策本部では、Zoomウェビナーを利用して標記の講演会を実施した。今回は、令和の米騒動と呼ばれた米不足が社会問題となっていた時期に企画したものもあり、田樹氏を招いた。内田氏は「日本の社会、あるいは、世界全体を蝕んでいると考えられるいわゆる新自由主義政策（とその発現）に対する批判的な考察を軸としつつ、日本の現在の農業の問題に限らず、様々な問題について講演を行った。内田氏の解説は縦横に様々な知識を見を動員したも

How About

ADR?

野球狂V誌 in 仙台

今晚は牛タンが
がんばるぞ！

日弁連野球マスターズ大会 オールドプレーヤーたちの 祭典 神戸戦 サヨナラ勝ち! 何か知らないけどドタバタして 目覚めた。 全国から6チーム（及び14人の個人）の参加があり、各チーム2試合ずつ戦つた。横浜チームは、瀬古宣春団長の下、元氣印山崎健一や自称山本昌（本名非公開）を始め、18人（ただし選手は12人）が杜の都に乗り込んだ。当会会長である筆者も、副会長2名を引き連れて馳せ参じた。 外は気持ちの良い青空だったが、屋内は薄暗くて中高年には球が見づらく、また各選手とも往年の運動神経が薄れつつある、オールドプレーヤーたちの祭典である。今回が第10回。 弁護士野球の全国決勝大会に続いて行われる、オールドプレーヤーたちの祭典である。本大会は、された。本大会は、 今年11月23日、日弁連野球マスターズ大会が仙台市内の屋内球場「シェルコムせんだい」で開催された。本大会は、 弁護士野球の全国決勝大会に続いて行われる、オールドプレーヤーたちの祭典である。今回が第10回。 さすがに、東北におけるクマの異常出没の影響はこの地にも及んでおり、対策のため球技場の自動ドアは全て手動に切り替えられていた。 横浜は、初戦福岡と対戦するも、3回まで0-14の体たらく。だが最終回となつた4回、代打で出した本体チーム監督の森弘吏の別格の豪打をきっかけに、やつと9点を上げ、形をつけた。 2試合目は神戸戦。4-16と劣勢で、制限時間も残り少なく敗色濃厚だった6回裏、敵失・四球・安打で1点を返すも、ボーテボテのゴロが続き万事休す。と思いきや、ドタバタのうちに2点が入り、何か知らないけど甘ヨナラ勝ち。図らずも勝利投手となつた筆者は、 なお、東北におけるクマの異常出没の影響はこの地にも及んでおり、対策のため球技場の自動ドアは全て手動に切り替えられていた。 横浜は、初戦福岡と対戦するも、3回まで0-14の体たらく。だが最終回となつた4回、代打で出した本体チーム監督の森弘吏の別格の豪打をきっかけに、やつと9点を上げ、形をつけた。 2試合目は神戸戦。4-16と劣勢で、制限時間も残り少なく敗色濃厚だった6回裏、敵失・四球・安打で1点を返すも、ボーテボテのゴロが続き万事休す。と思いきや、ドタバタのうちに2点が入り、何か知らないけど甘ヨナラ勝ち。図らずも勝利投手となつた筆者は、

早川和孝 菊池帆花
デスク記者

今年の恵方は南南東とのことです。恵方巻も季節の行事として以前より定着し、給食で提供される学校もあるようです。以前であれば、節分と言えば鬼のお面にホツチキ止止めされた豆入りのビニールが定番でしたがが、世の中が豊かになつたのかもしれません。

編集後記

家庭内トラブルの新たな解決策

「家事ADR」

家庭内の紛争解決において、ADRが注目を集めている。これは、一般の方には敷居が高いと感じられるがちな家庭裁判所の調停に代わる、より柔軟な話し合いの場である。家事ADRは、家事問題をめぐる様々な場面、具体的には離婚、養育費、面会交流、相続、祭祀承継（お墓の問題等）といった問題を取り扱うものとされている。

関係の相談や受任を受けた際に選択肢の一つにぜひ加えていただき、またあつせん人となつて、その培つた経験を活かすこととを積極的に考えていただきたい。

関係の相談や受任を受けた際に選択肢の一つにぜひ加えていただき、またあつせん人となつてその培つた経験を活かすことと積極的に考えていただきたい。

昨年10月18日、当会会館にて、将棋指導会が実施された。

私自身は、将棋は少しやったことがある、といふ程度であり、指導会に参加するのも初めてであつたが、大変楽しい時間をすごすことができた。

当日は、飯塚祐紀八段、宮嶋健太四段、頼木奈菜女流二段という指導陣のもと、将棋好きの会員さんが集まり、和やかな雰囲気の中で指導対局が行われた。

指導対局というものの面白さ初めての体験だった私にとって、棋士の先生方が、複数の盤面で、それ2、3人を同時に相手させていたことは新鮮な光景だった。複数の盤面を見渡しながらも、対局後には重要な局面を重現してアドバイスをくださり、非常に勉強になつたと同時に、プロ棋士の迫力を垣間見た気がした

の私でも、良い対局ができているような感覚があつた。良い手を指すことができたときの嬉しさは忘れないものがあつた。周りを見渡せば、参加者の会員も、各自熱心に棋譜を記録したり、対局後には感想戦を行つたりと、真剣に盤面に向かいながらも楽しんでいた様子が印象的だった。何より嬉しかったことは、会場全体が和やかた雰囲気であり、自然とその場に溶け込める。ようだ

ての活動や日常のひとなど、普段聞く機会のない貴重なお話をしてくださいました。また、参加者の会員の皆様は、対局の合間にフランクに声をかけてくださいました。

将棋の指導対局といふ体験自体が楽しかったことはもちろんのこと、交流の輪に加わることができた充実感もあり、良い一日となつた。このような機会に参加できたことを心より嬉しく思つ。

イベントだったこと)である。棋士の先生方は、初級者である私に対しても、初步的なことから教えて